

## 令和7年度 学校評価（自己評価\_教員）結果

I 教育方針	校訓の「自治創造」、「明朗親和」にもとづき、未知の課題に対応しうる豊かな知識、教養を獲得し、多面的・客観的視野と思慮深さをもって、21世紀の地域・日本・世界が直面する課題を展望し、自己の良心と責任において、他者と協働しつつ課題解決に向けて行動・発信できるリーダーを育成する。									
II 学校経営の重点	1 理数科を柱に、将来の高大接続への展望を踏まえた教育の推進 2 生徒の個性の開発・伸張を図るとともに、道徳性の涵養・育成を図る教育の推進 3 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の継承と発展 4 普通科における「探究活動」の取り組み 5 学校評価の取組を更に進めるとともに、「開かれた学校」づくりの推進									
部署	No.	評価項目		評価4 (%)	評価3 (%)	評価2 (%)	評価1 (%)	R7平均 n=34	R6平均 n=39	
総務広報部	1	家庭や地域への情報発信	・メールマガジン・ホームページの充実を図ることにより、情報発信のいっそうの強化を進める。広報活動をさらに充実させる。	26	62	9	3	3.11	3.54	
	2	学校評議員制度を活用した学校運営の推進	・適切な情報を提供するとともに、要望・意見を聞き取り、PDCAによる学校運営の活性化に活かす。	21	76	3	0	3.18	3.46	
	3	家庭・地域・関係機関との連携した危機管理体制の確立	・防災マニュアルの点検・見直しを進めることできざまな危機に対応できる体制を整え、家庭・地域・関係機関と情報を共有することにより、防災・危機管理意識を高めるとともに、教職員の指導力・実践力の向上を図る。	12	62	26	0	2.86	3.15	
教務部	4	計画的な教科指導	・生徒の実態に即したシラバスを作成し、シラバスに従った効果的な指導および評価を行なう。	18	53	29	0	2.89	3.18	
	5	教科指導力の向上・改善	・公開授業や授業アンケート等、授業研究を行うことによって魅力的な授業づくりを進めるとともに、主体的・対話的で深い学びを通して生徒の思考力・判断力・表現力を養う授業づくりを工夫する。	24	68	9	0	3.18	3.48	
進路指導部	6	職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	・進路講演会やOB講演会の充実を図るとともに・キャリア研修の機会を設け、キャリア教育を推進する。	38	47	15	0	3.23	3.49	
生徒指導部	7	生徒の安全・安心の確保と、自治活動の充実	・自治創造、明朗親和の校訓のもと、生徒会活動を中心にあらゆる教育活動を通して生徒一人一人の自主性、自律性を育む。	26	59	12	3	3.08	3.41	
	8		・生徒の安全と安心のための生徒支援を継続的に行う。	38	47	15	0	3.23	3.04	
	9	いじめのない学校づくりの推進	・いじめ防止に関する推進体制を整え、未然防止、早期発見、早期対応に努める。	26	59	15	0	3.11	3.28	
	10	パートナーシップに基づいた生徒指導体制の確立	・生徒の人格を尊重し、生徒指導上の課題を生徒とともに解決していく。	29	62	9	0	3.20	3.54	
	11	理数科や自然科学部で取り組んできた協働的・対話的な活動の普通科への普及	・普通科での「探究」や授業、総合的な探究の時間、校外学習等で、グループワークや発表など協働的・対話的な取り組みを一層推進するとともに、理数科のプログラムに普通科生徒が参加する機会を増やす。	38	56	6	0	3.32	3.53	
	12	理数科における「研究力」・「発信力」の育成	・理数科において、科学的に思考し主体的に課題に取り組む「研究力」とデータや推論過程を的確に示して第三者に意見を伝える「発信力」を育成する。	32	56	12	0	3.20	3.48	

部署	No.	評価項目		評価4 (%)	評価3 (%)	評価2 (%)	評価1 (%)	R7平均 n=34	R6平均 n=39
教育企画部	13	海外の高校との連携	・理数教育の盛んな海外の高校と連携を図り、生徒間の交流を推進する。	29	62	9	0	3.20	3.54
	14	「探究活動」の推進	・今年度の計画を可能な限り円滑に実施し、生徒の情報収集力、課題解決能力、関与力、批判的思考力の向上を図る。	24	65	12	0	3.15	3.67
	15	STEAM教育の推進	・計画を予定通り実践し、生徒の好奇心、関与力、課題解決力の向上を図る。	26	56	18	0	3.08	3.44
	16	人権教育の推進	・人権ホームルームを中心に人権意識の向上を図り、主体的に差別の解消に取り組もうとする生徒を育てる。	24	53	24	0	3.03	3.22
	17		・人権ホームルームの成果と課題を踏まえ、次回の人権ホームルームに活かす取組を行う。	41	53	6	0	3.35	3.43
保健部	18	教育相談の充実	・個々の相談内容に対し、関係職員と連携しながら適切に対応する。必要に応じてキャンパスカウンセラーと連携し、教育相談の充実を図る。	38	62	0	0	3.38	3.59
	19	校内救急体制の確立	・職員AED心肺蘇生法講習会を実施し、救急体制の確立を図る。	38	62	0	0	3.38	3.59
	20	校内美化等の推進	・生徒会美化委員会と連携し、校内美化・安全点検を推進する。 ・今年度のスローガンを「古くてもこぎれい」とし、生徒と協力して清掃活動に取り組む。	32	59	9	0	3.23	3.51
第1学年	21	主体性や協働力の伸長と自己実現に向けた基礎・基本の習得	・生徒が自ら考え、自ら行動できる集団づくりを目指すHR・行事・学習活動を企画・立案・実施する。 ・「探究」学習の意義を理解し、思考力、判断力、表現力、発信力を身につけさせる。 ・協働する機会を多くし、主体性、多様性、協調性を育む環境を整える。 ・人権意識を涵養し、正義感のもと行動し、共感力の高い生徒を育てる。	32	59	9	0	3.23	3.51
第2学年	22	中間学年として学校を支える意識の醸成	・自ら考え、自己の責任において自ら行動できる生徒たちの集団づくりを目指す行事を企画・立案・実施する。 ・人権意識を高揚させ、正義感のもと行動できる生徒を育てるとともにお互いの能力が共鳴し合う集団づくりに資する。 ・進路HR、進路通信などにより意識を高め、進路実現につなげていく。 ・「探究」学習の実践を通して、思考力、判断力、表現力、発信力を身につけさせる。 ・協働する機会を多くし、主体性、多様性、協調性を育む。	32	62	6	0	3.26	3.51
第3学年	23	最高学年としての自覚と個々の進路実現	・自己の良心と責任において行動し、「自治創造」が具現化できる集団をつくる。 ・卒業後の進路実現を目指し、計画的、継続的な学習を促す。 ・人権意識を涵養し、正義感のもと行動できる生徒を育てる。 ・「探究」学習の実践を通して、表現力、発信力を身につけさせる。 ・社会情勢にも目を向け、自ら考え行動する自走力を育む。	38	59	3	0	3.35	3.36